

# 加西市議会だより

No.187

# 5

令和8(2026)年

令和8年度予算を可決 (P2~3)

- 3月定例会
- ・議案審議レポート (P4~6)
- ・議決結果 (P7~8)
- ・一般質問 (P8~15)

賑わいあふれる 北条節句祭り



# 令和 8 年度予算を可決

3月定例会では、一般会計（320億円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院の企業会計を含む、総額563億8,860万2,000円の令和8年度予算案が提案されました。

一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は総務常任委員会及び建設経済厚生常任委員会において、4日間にわたり慎重審議を行い、一般会計については修正案を可決、その他は原案のとおり可決しました。

## 大型事業が本格始動

議案第37号 令和8年度加西市一般会計  
予算について

### 質疑

**加西中央統合中学校整備事業** 28億円

**問** 事業の内訳は。

**答** 工事内容については、令和7年度から8年度で実施している造成工事、令和8年度から9年度で実施予定の校舎の建築工事、調整池の整備工事、掘工事、工事監理費や電柱等の移設補償費などです。

**脱炭素先行地域づくり事業** 1億6,100万円

**問** 九会地区マイクログリッド構築事業の変更内容は。

**答** 令和7年度から8年度で実施する予定としていたが、太陽光パネルの設置を検討していたため池の協議が進まなかったため、別のため池に変更して令和8年度で実施する予定です。

**市道新設改良事業** 2億1,900万円

**問** 事業の内訳は。

**答** 新病院・小学校跡地利用のための道路整備事業と市内幹線道路の狭小部の道路整備を行うことで、交通の安全確保と利便性向上を図り、新病院アクセス道路については道路改良、令和8年度から事業を開始する道路については測量調査を実施する予定です。

- ・新病院アクセス道路
- ・殿原1号線
- ・繁昌富合小学校線
- ・鴨谷別所線



**問** 大幅に予算が増えている要因は。

**答** 玉丘常吉線の常吉交差点付近の工事を令和7年度実施から令和8年度実施としたことによる工事費の計上のほか、新病院のアクセス道路や学校再編による新たな道路計画のための設計予算も計上したためです。

**北条鉄道車両購入** 8,250万円

**問** 今回購入の車両の乗車定員は。

**答** フラワー号は118名、キハ100は103名です。今回購入のキハ100はトイレが備わっており、そのトイレを撤去して座席に変更することで、一定の定員の確保をしたいと思っています。

**草刈機械整備補助** 400万円

**問** 補助の内容は。

**答** 自治会や農会等がラジコン草刈り機や草刈り専用アタッチメントを購入する費用の一部を助成します。乗用や遠隔操作により、農作業において負担となる草刈り作業の省力化、炎天下での作業時間の短縮などによる熱中症対策を図ります。

**問** 補助率について。

**答** 市単独で実施している認定農業者、集落営農向けの機械整備補助とのバランスを図るため、補助額は同じく購入費の10分の3とし、コスト面から、集落間での共同利用なども可能と考えており案内していきます。

**企業見学説明会事業** 60万円

**問** 事業の内容は。

**答** 北播磨地域内の工業高校生を対象とした市内企業の見学説明会を実施し、市内企業から様々な話を聞き、実際に働く現場を見学することで視野を広げ、市内企業への就職につなげます。

**問** 対象を工業高校生に限定している理由は。

**答** 工業高校は卒業生の約6割が就職しており、近隣の工業高校は、就職した学生の8割が県内、そのうちの4割程度が北播磨地域内で就職しています。市内企業の求人対策も必要であることから、市内企業を知っていただき就職につなげるためです。

## 個別歯科検診事業

470 万円

**問** 検診事業の内容は。

**答** 市内指定歯科医療機関で問診、口腔内検査、結果に基づく歯科保健指導を実施します。対象者は、妊婦、20 歳、30 歳、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳、76 歳、81 歳に達する方です。

## 学力向上事業

600 万円

**問** 事業の内容は。

**答** 令和 7 年度から導入しているリーディングスキルテスト、標準学力調査、令和 8 年度から導入計画のコグトレオンラインです。リーディングスキルテストは小学 5・6 年生と中学 1・2 年生、標準学力調査は小学 3～6 年生と中学 1 年生を対象とします。コグトレオンラインは認知力の向上を目的とし、特別支援学級や通級を受けている児童を対象に実施します。

## 学校水泳指導委託

734 万円

**問** 今後の展望は。

**答** 今後、拡大していく方針です。令和 8 年度は泉小学校と北条東小学校の 2 校だけですが、スクールバスの活用も含め、次年度以降どのように対象校を増やしていくか検討していきます。

**問** スケジュールは。

**答** 5 月から 11 月にかけて実施する予定です。



## 自走式トイレカー購入

3,300 万円

**問** 車両の設備機能は。

**答** 車体は 3 トントラックの改造車両で、男性用トイレが個室 2 基と小便器 1 基、女性用トイレが個室 2 基、多目的トイレとして男女兼用 1 基が設備され、水タンクは 700 リットル、便タンクは 960 リットルで、約 400 回使用できます。

**問** 利用目的は。

**答** 災害時には衛生的で安全なトイレを確保し、被災者の健康維持を目指します。平常時には防災訓練やイベントで使用展示し、市民の防災意識向上を図ります。

※ 以上のような質疑の後、本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

・総合運動防災公園の基本設計委託料 8,000 万円及び地域のきずなづくり推進事業委託料 985 万円を削減するもの。

(修正の主な理由)

・総合運動防災公園の基本設計については、市民の声をもっと聴きながら、その必要性、規模、将来設計等を具体的に検討すべきである。前回の審議での指摘事項や監査委員の意見等に対する検討が不十分であり、市民の理解と納得が得られていない。

・地域のきずなづくり推進は喫緊の課題であるが、これを主体的に担うのは地域であり行政は委託する立場ではなく支援する立場である。支援の方法として補助金を交付するのであれば、補助金申請書と実施計画書と実施報告書の提出を求めるべきである。

・地域のきずなづくり推進の目的は理解できるが、実施方法等を再検討し根本的に見直す必要がある。

## 討 論

### 原案に賛成・修正案に反対

・総合運動防災公園について、土地は市の財産なので当然測量は必要である。基本設計については議会の理解が必要であり、規模を含めた内容について精査の必要がある。それは市民に対しても同じように、判断材料を提供するために提案されていると考える。(本会議)

### 原案に反対・修正案に賛成

・総合運動防災公園については、昨年の 9 月定例会で調査測量委託料 3,500 万円を否決している。市民から必要性や将来の財政負担に対する懸念の声が上がっており、広報への掲載は行われているが、市民の理解が十分に広がったとは言えない。どのような経済効果をもたらす市の活性化につながるのか、数字に基づいて具体的な説明が必要である。(本会議)

・地域のきずなづくりの必要性については理解するものの、実施報告を求めないのは効果の検証評価が難しく、持続可能な自治会運営にどのようにつながるのかが明確ではない。(本会議)

・地域のきずなづくりは、委託ではなく補助対応とすることが望ましいと考える。(本会議)

## 議決結果

賛成 11、反対 3 の賛成多数で修正案が可決された後、全会一致で修正部分を除く原案可決

# 議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。  
主な議案と審議の経過について紹介します。

## 加西市議会の議員定数と 議員報酬の見直しを図る

議案第 5 号 加西市議会の議員定数と報酬  
を定める条例の制定について

**概要** 加西市特別職報酬等審議会の答申、議員のなり手不足の解消、近隣市の状況及び行財政改革等を踏まえ、加西市議会の議員定数と議員報酬の見直しを図ることを目的として、条例を制定するもの。

### 質疑

**問** 議員定数の削減及び報酬を特別職報酬等審議会の答申以上に増額して提案した理由は。

**答** 近隣市が議員定数を削減しているが、本市においては人口が減少するなか定数を維持したままであり、採決の際に賛否が同数となる奇数となっています。議員のなり手不足の解消を考慮し、年収ベースで約 100 万円程度の増額となる水準に報酬を設定し、行財政改革の観点からも支出総額が増加しないよう配慮した結果、定数を 12 に削減する条例改正を提案する政治判断を行いました。

**問** この一つの条例で二つの条例を改正しようとされるが、どのような理由か。

**答** 本来は議会自らが判断して決めるべき事項と考えていますが、近隣の状況等、いろんな意見を聞いて、私が提言するしか方策はないとの思いであえて提案しました。

※ 以上のような質疑があり、本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

- ・議員定数を 14 人とする。
- ・議員報酬は次期議員の任期開始の日から適用する。

### 討論

#### 修正案に賛成・原案に反対

- ・報酬を上げることは、出馬意欲のある市民に少しはハードルが下がり、立候補に有利に働く。(本会議)

#### 修正案・原案ともに反対

- ・市民の多様な意見を議会に反映させるためには、一定の議員定数を確保する必要がある。(総務常任委員会)
- ・今回の議案は議会制民主主義の根幹に関わる問題であり、議会において議員定数等調査特別委員会を設置し、議会として取りまとめた意見を尊重すべき。(総務常任委員会)
- ・議員定数等調査特別委員会で実施された市民アンケートの結果では、なり手不足の主な要因として、仕事に魅力を感じない、地域や親族のしがらみといった点が上位を占めている。(総務常任委員会)
- ・地域性や世代など多様な市民の声を議会に反映させる上で一定の役割を果たしており、これを 3 名削減することは、その機能に影響を及ぼす可能性がある。(本会議)

### 議決結果

修正案：賛成 3、反対 11 の賛成少数で否決

原案：賛成 0、反対 14 で否決

## 特別職（市長・副市長・教育長）の 給料月額を改正

議案第 6 号 特別職に属する常勤の職員の給与  
に関する条例の一部を改正する条  
例の制定について

**概要** 加西市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、特別職の給料月額を改正するもの。

### 質疑

**問** 行財政改革を推進する中で、常勤の特別職の給料を増加させる判断をした理由は。

**答** 特別職報酬等審議会の答申に基づくもので、長年、減額されたままとなっています。市長の給料は市の格付けとの判断もあり、このような増額の答申をいただいたと考えています。

### 討論

#### 賛成

- ・報酬等審議会の答申を受けて提案されたものであり、その内容を尊重すべきである。(本会議)

#### 反対

- ・給料を引き上げる方向性については理解するものの、その実施時期については市民の理解を得ることが重要である。(本会議)

## 討 議

- ・給料改定の実施時期に関して、選挙後に行うべき。  
(本会議)

## 議決結果

賛成 3、反対 11 の賛成少数で原案否決



# 適正な土地利用と 良好な地域環境を守る

### 概要

都市計画の区域区分廃止に伴い、市・住民・事業者が相互理解と協力のもと、協働してまちづくりと開発調整に関する基準や手続き等を定めることにより、適正な土地利用と良好な地域環境を守ることを目指すもの。

### 質 疑



新たに条例を制定する理由は。



従来の市街化調整区域では、区域区分廃止後に宅地分譲等が行われる可能性があり、3区画以上の分譲開発を住民説明会の対象とすることにより適正な土

議案第 11 号 加西市まちづくりと開発調整に関する条例の制定について

地利用を図るためです。



敷地面積 200㎡以上の太陽光発電施設を住民説明会の対象としているが、その実効性は。



事業者には住民からの意見に対して回答することを義務付けているため、住民との調整が必要となるなど実効性は担保されています。

### 討 論

なし

### 議決結果

全会一致で原案可決



# 日吉・宇仁・西在田小学校が 閉校となった後も、引き続き 体育館や運動場は使用できる

### 概要

令和 8 年 4 月 1 日の泉中学校区の小学校統合により、日吉小学校、宇仁小学校及び西在田小学校が閉校となるが、引き続き、地域のスポーツ団体や住民組織が体育館や運動場を使用できるよう新たに条例を制定するもの。

### 質 疑



施設の管理運営方法はどのようにするのか。



閉校になった学校は、当面教育委員会が管理します。これまでどおり安全快適に利用できるよう、施設予約システムの活用と職員による施設巡回を予定しています。また、利用者の実績報告や使用料の支払いまでを加西市公式 LINE で手続きができる仕組みを整えています。



使用料の減額や免除の対象の考え方は。



施設の使用料につきましても、学校の体育施設と同じように、青少年の健全育成や地域の公共性を

議案第 16 号 加西市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について

重視した減免基準を設けていきます。



使用にあたっての優先順位はあるのか。



これまで継続して使用されている団体の時間帯を尊重しながら、それ以外の空き時間を新規の団体に開放していきたいと考えています。もし使用期間、規模が重なる場合は、利用団体同士の話合いによる自主的な調整をこれまでと同じようにお願いしたいと思いません。

### 討 論

なし

### 議決結果

全会一致で原案可決



# 市の最上位計画を策定し 5年間の方向性を決める

議案第 22 号 第 6 次加西市総合計画後期基本  
計画の策定について

**概要** 総合計画は、前期後期からなる 10 年の計画期間となる市の最上位計画で、前期計画での取組や課題を検証・評価し、今後 5 年間のまちづくりの方向性やビジョンを示す後期計画を策定するもの。

## 質疑

**問** 市民アンケート結果を後期計画にどのように反映させ、反映できていない意見をどのように活かすのか。

**答** 2,700 件の回答をいただき、うち 1,300 件の自由記述がありました。これらを課題として後期計画に反映させるとともに、全職員で共有し今後の行政運営に活用することとしています。

**問** 前期計画の成果と課題の検証結果を踏まえ、課題を後期計画にどのように反映させたのか。

**答** 成果としては、西高室地区住宅開発や子育て 5 つの無料化などによる人口減少の抑制、ふるさと納税による財政健全化などです。一方、大きな課題としては、深刻化する人手不足、公共交通の維持、不登校対策などです。後期計画では、AI やスマート農業などによる生産性向上と女性や外国人材の活用、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上、ICT を活用した個別学習支援などによる不登校対策を推進します。

## 討論

なし

## 議決結果

全会一致で原案可決



# 庁舎増築事業 6,000 万円を削除

議案第 29 号 令和 7 年度加西市一般会計補正  
予算（第 6 号）について

本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

・繰越明許費の総務管理費庁舎増築事業 6,000 万円を削除する。

(修正の主な理由)

・この駐車場拡幅工事費は、令和 7 年度一般会計予算の庁舎増築事業費には含まれておらず、元々予算計上されていない。予算計上されていない経費を「繰越明許費」として繰り越すことは地方自治法第 210 条の総計予算主義の原則規定に違反するおそれがあり、議会や市民が予算を正確に把握できる責任ある予算執行を求めるため、当該繰越明許費を削除する。

・駐車場予定地の植栽は夏の強い日差しを防ぐとともにサイサイまつりなどの憩いの場である。美しい景観は加西市の顔としての役割を担っているのので簡単に伐採するのではなく、もっと計画を練り直すべきである。(本会議)

## 議決結果

賛成 10、反対 4 の賛成多数で修正案が可決された後、全会一致で修正部分を除く原案可決

## 討論

### 原案に賛成・修正案に反対

・分散している職員を増築庁舎に集約するための駐車場拡幅整備である。内容の説明不足はあるが、執行者の答弁では地方自治法違反のおそれはないとのことで原案に賛成する。(本会議)

### 原案に反対・修正案に賛成

・駐車場 66 台分の拡幅整備であるが、議員も市民も知らないうちに測量・入札まで終わっているのは、行政運営における透明性が完全に失われている。(本会議)



# 第 317 回 令和 8 年 3 月定例会 議決結果一覧

## 全会一致で承認、可決した議案

報告第 2 号	専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和 7 年度加西市一般会計補正予算（第 5 号））
議案第 1 号	加西市交通安全対策会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 2 号	加西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 3 号	地方自治法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第 4 号	加西市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 7 号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 8 号	加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 9 号	加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 10 号	加西市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 11 号	加西市まちづくりと開発調整に関する条例の制定について
議案第 12 号	加西市特定用途制限地域に関する条例の制定について
議案第 13 号	都市計画の区域区分の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第 14 号	加西市水道事業給水条例及び加西市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 15 号	加西市生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 16 号	加西市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の制定について
議案第 17 号	加西市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第 18 号	加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 19 号	加西市議会議員及び加西市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び加西市議会議員及び加西市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 20 号	加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 21 号	加西市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 22 号	第 6 次加西市総合計画後期基本計画の策定について
議案第 23 号	指定管理者の指定について（加西市立地区集会施設）
議案第 24 号	指定管理者の指定について（加西市立コミュニティ供用施設）
議案第 25 号	指定管理者の指定について（加西市農村公園）
議案第 26 号	泉小学校大規模改修及び増築工事請負変更契約の締結について
議案第 27 号	令和 7 年度加西市中型送迎スクールバスの購入契約の締結について
議案第 28 号	令和 7 年度加西市小型送迎スクールバスの購入契約の締結について
議案第 29 号	（修正部分以外）令和 7 年度加西市一般会計補正予算（第 6 号）について ※
議案第 30 号	令和 7 年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について
議案第 31 号	令和 7 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について
議案第 32 号	令和 7 年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について
議案第 33 号	令和 7 年度加西市産業団地整備事業特別会計補正予算（第 1 号）について
議案第 34 号	令和 7 年度加西市水道事業会計補正予算（第 4 号）について
議案第 35 号	令和 7 年度加西市下水道事業会計補正予算（第 3 号）について
議案第 36 号	令和 7 年度加西市病院事業会計補正予算（第 3 号）について
議案第 37 号	（修正部分以外）令和 8 年度加西市一般会計予算について ※
議案第 38 号	令和 8 年度加西市国民健康保険特別会計予算について
議案第 39 号	令和 8 年度加西市介護保険特別会計予算について
議案第 40 号	令和 8 年度加西市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第 41 号	令和 8 年度加西市公園墓地整備事業特別会計予算について
議案第 42 号	令和 8 年度加西市産業団地整備事業特別会計予算について
議案第 43 号	令和 8 年度加西市水道事業会計予算について
議案第 44 号	令和 8 年度加西市下水道事業会計予算について
議案第 45 号	令和 8 年度加西市病院事業会計予算について
議案第 46 号	加西市立北条中学校外 3 校体育館空調設備整備工事請負変更契約の締結について
委員会提出議案第 1 号	加西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

※ 議案第 29 号及び議案第 37 号の修正案が可決されたため、修正部分を除く他の原案について採決を行い、可決しました。

議案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	佐伯欣子	高見博道	丸岡弘満	田井真一	土本昌幸	森元清蔵	森田博美	中右憲利	深田照明	議決結果
議案第5号 修正案 加西市議会の議員定数と報酬を定める条例案に対する修正動議	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議長	×	修正案否決 (賛3、反11)
議案第5号 加西市議会の議員定数と報酬を定める条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	原案否決 (賛0、反14)
議案第6号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	議長	×	原案否決 (賛3、反11)
議案第29号 修正案 令和7年度加西市一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議長	○	修正案可決 (賛10、反4)
議案第37号 修正案 令和8年度加西市一般会計予算に対する修正動議(森元清蔵議員提出)	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議長	×	修正案否決 (賛5、反9)
議案第37号 修正案 令和8年度加西市一般会計予算に対する修正動議(田井真一議員提出)	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議長	○	修正案可決 (賛11、反3)

市政を問う!

## 一般質問

3月9日～10日の本会議では、14名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)  
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



田井 真一 議員

(改革未来・自民の風・加西市民の会)



### 総合運動防災公園予算を再度計上する意図は議会の否決理由である課題を全く解決もせずに・・・

施設拠点分散型案、新拠点整備案など複数の施策案を検討した」と答弁されたが、その会議の出席者は。

**答** 検討していません。(前回答弁との整合性?)

**エビデンス(客観的データ・根拠)に基づいた必要性**

**問** 観覧席を有する総合体育館及び陸上競技場の必要性について、1,500席を収容する具体的な大会名やイベント名、年間使用回数をエビデンスに基づいて説明を。監査委員も求められておられる。

**答** (担当部長からは明確な答弁なし。)

#### 防災力強化と公園整備

**問** 防災力強化のため、日本陸連公認の陸上競技場を防災ヘリポート・救援活動拠点として活用し、自衛隊とも連携することであるが、自衛隊車両や救急車両を乗り入れての平時での防災訓練を日本陸連は認めるのか。

**答** そこまで想定していませんでした。

#### ■その他の質問事項

- ・「地籍調査」の早期達成に向けて
  - 市内の達成地区39、未達成地区65、完了まで今後30年間
  - 空き家や所有者不明土地が増加する中、業務が益々困難に
  - これこそ「未来への贈り物」、人と金を集中し「スピード感」を持った推進を

## 地域公共交通はどこに向かうのか



**西脇 親 議員**  
(改革未来・自民の風・加西市民の会)

**問** 必要とするのはどういった方々なのか。

**答** 市民の暮らしを守り、市の持続可能性を確保するために不可欠なインフラとして、移動の権利の保障と健康維持、安全安心なまちづくりの推進、行政コストの最適化です。

**問** 走らせる交通から、最適化される交通への転換を考えるといけなのではないか。

**答** 自動車と適正に役割を分担し、高齢者や学生などの移動手段を確保することで、外出機

会の創出、健康増進や地域活性化を促します。また、家族の送迎負担を軽減し、他分野の波及効果を高めることで、次世代へつなぐ持続可能な社会基盤を構築し、市民の生活環境を向上させることを目指していきたくと考えています。

**問** 条件、環境の異なる地域を一つにまとめることのできるのか。

**答** その解決策として、MaaSの推進を掲げています。鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル等の多様な手段を一つの移動サービスと捉え、検索、予約、決済を一括で行う仕組みです。

**問** 路線維持から生活維持、生活機能維持へと転換していく時期が来ているのでは。

**答** デジタル技術を活用し鉄道、バス、タクシーに加え

て、シェアサイクル等の多様な手段を一つのサービスとして統合することで、検索、予約、決済の利便性の向上を高めているところです。既存の公共交通が届かない地域では、地域主体型交通の導入や、予約に応じて運行するデマンド型の方式も視野に入れ、効率的な方法を採用することで、持続的な公共交通を検討していきます。デマンド型方式等新たな交通の再編を行った県内自治会の情報を収集しながら、令和12年度に開院が予定されている市立加西病院の移転に対応した、交通網の再編に向けて、今後の方針を検討していきたくと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・地域の活性化に向けて
- ・加西市の農業はどうなるのか

## 文化財保存の現状と歴史文化資料館(仮称)の設置構想



**深田 照明 議員**  
(加西市民クラブ)

**問** 文化財の調査・資料整理・保管の現状は。

**答** 出土遺物の整理は洗浄、接合、実測図作成等の作業を行い、最終的に発掘調査報告書を作成して広く成果を公開しています。古文書等の資料整理は所蔵者への聞き取り調査、写真撮影を行い、名称、年代、内容などを読み解き目録の作成を行っています。現状、これらの作業すべてを埋蔵文化財整理室で行っており、保管は埋蔵文化財整理室と中野町の収蔵庫で管理しています。

**問** 遺跡出土品や古文書、民具など文化財は何点ほど保管されているのか。

**答** 土器などの出土遺物は保管管理用のプラスチック製コンテナに収納されており、整理作業中のもも含めて、コンテナは4,918箱あり、実数は各コンテナ内の収納数が違い正確な数は把握できていませんが数万点があります。古文書等の文書類は9万2,734点、民具は512点となっています。

**問** 現状の展示スペースは狭すぎるのでは。

**答** 埋蔵文化財整理室の展示室で玉丘古墳群出土遺物を中心に石棺や埴輪、土器など87点、また、玄関ホールに旧石器時代から近世までの発掘遺物を96点、合わせて183点を展示していますが、展示スペースが狭小で改善する必要性は認識しています。

**問** 歴史文化資料館設置の構想はあるのか。

**答** 貴重な歴史遺産や文化財を保存管理し、次世代を担う子供たちに伝えていくための拠点施設を設置することは、加西市のアイデンティティーを醸成する上でも極めて重要であると認識しています。予算的に高額な新施設整備計画は困難な状況ですが、既存の公共施設の有効活用も含めて、低コストで持続可能な形で資料の収蔵保管、展示機能が確保できないか、現実的な方法を検討しています。

**問** 学校跡地などの活用は。

**答** 泉中学校の旧校舎は隣にある北部公民館と併せた複合的施設として、有効活用できるのではないかと検討を進めています。

## 2026年(令和8年)道路交通法改正について



高見 博道 議員  
(令和新風加西)



**問** このたび、自転車の青切符、仮免許の受験年齢の引き下げ、自動車が自転車を追い越す際の新ルールなど、道路交通法が改正されたが、加西市としての対応は。

**答** 令和8年4月1日から、自転車の交通違反についても青切符制度が適用となります。市民への周知につきましては、令和8年1月の区長発送で青切符導入のお知らせチラシを隣保回覧しています。今後も、警察、関係機関と連携しながら、啓発用チラシを配布する等の周知を進めていきます。

いと考えているところです。

**問** 生活道路、いわゆるセンターラインがなく速度標識のない道路については、法定速度が30キロまで引き下げられるが、市民にどのように周知して対応していくのか。

**答** 令和8年9月1日から生活道路における車の速度制限がこれまでの時速60キロから時速30キロへと大きく下げられます。標識のない道路を走る際にはセンターラインがなければ30キロ、センターラインがあれば60キロと判断して運転していくことになります。市民の皆さんへの周知というのは非常に大事になってきます。改正法は施行が9月になりますので、警察、関係機関と連携しながら、広報かさい、区長発

送、ライフナビ等で周知をしようと考えているところです。

**問** 公用車を運転する職員への対応はどうするのか。

**答** 加西警察署の協力を得て研修を開催したいと考えています。職員が道路交通法の改正内容を理解し、これまで以上に安全運転を心がけ事故防止につなげるよう努めていきます。

### ■その他の質問項目

- ・ 泉統合小学校について
- ・ 在田南部地区圃場整備事業について
- ・ 加西インター産業団地と周辺の開発について



土本 昌幸 議員  
(公明党)



## 働き方改革について (カスタマーハラスメント)

**問** 厚生労働省は改正労働施策総合推進法の施行日を令和8年10月1日に決めました。自治体では東京都が全国初で制定し、その後、北海道や群馬県、三重県桑名市等が制定して、全国的に制定の動きがあります。教員不足が顕著な地方においては、可能な限りの対応が必要です。カスタマーハラスメントについては、職員や教職員に対する保護もありますが条例を制定すると、市民のためにもなると考えます。例えば、面接時間や繰り返しの回数制限等を取り決めれ

ば、双方の負担軽減につながります。ただし、職員、教職員の対応能力の向上は当然必要ですが、すぐには対応できないことが多いと思います。また、教育現場は限られた場所で、本庁とは少し違うと考えます。働き方改革の一環として、特に教職員の不足について取組を進める必要があると考えますが当局の見解を求めます。

**答** 学校では保護者や地域の方からの過度な要求が多々あります。教員の丁寧な対応によって納得いただける場合もあれば、話し合いが長時間に及ぶ場合もあります。管理職が対応に当たることも多いですが、管理職も担当職員も神経をすり減らし、大変苦勞しています。学校では複数名で対応したり、一定時間を過ぎた場合

は、取りあえずその日は帰っていただいたり電話を切ったりというルールを決めていますが、組織的な対応ができていない状態だと言えます。組織的な対応として、ハラスメント対策を先進的に行っている自治体や学校の例を参考に、まずは学校現場でも一定のルールづくりが必要ではないかと考えています。

### ■その他の質問事項

- ・ 市長施政方針について
  - 地域づくり
  - 大型事業の整備
  - 子どもの教育の充実
  - 活力とにぎわいのあるまちを育む
  - 快適に暮らせる安全な社会をつくる
  - とともに活躍し、まちの魅力を高める



森元 清蔵 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## 議員定数の一方的削減は議会無視



**問** 今回なぜ市長から議員定数の削減を提案されたのか。

**答** 立候補者数が本市よりはるかに多い近隣2市が、先に14人に削減しているのに、加西市議会は現状維持（15人）との決定がなされている。市長が提言するしか方策はないのであえて提案した。

**問** 議会は、令和5年10月から令和7年1月まで特別委員会で議論してきた。類似団体82市の中で15人は、少ない方から12番目で、本当に厳しい現状

が現れている。アンケートの結果においても、現状に不満との意見は少なく、これ以上減らすことによって、住民代表としての役割が十分担っていけないという判断の中で、現状維持の15人に決めましたが、議会の決定に対して市長はどう思われているのか。

**答** なぜ採決の際に同数となる可能性がある奇数なのか。近隣市は14人にされているのに、現状維持とされたのが不思議でした。

**問** 必ず偶数にする必要はなく、賛否同数のときは、その時々で判断しており不都合はない。近隣市も議会が判断した。15人から12人にする根拠は。

**答** 14人、12人という選択肢しかない中で、質を高めるために年収700万円を目指して報

酬を増額する場合、一人100万円増額すれば、総額が1,200万円増加する。一方で3人削減すれば、100万円増額としても、総額で600万円減る。行財政改革を見据え、報酬との兼ね合いでこの提案をした。

**問** 議員定数を減らすという根拠を理論立てて説明していただきたい。

**答** 近隣との比較です。類似団体を見る必要はなく、質を高めるための報酬改善というのが大きな要素です。

### 意見

議員定数はそのまま報酬を上げるといふ、報酬審議会の答申に基づいた議案が出されるべきである。



佐伯 欣子 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## リーディングスキルテスト・トレーニングの丁寧な説明は必要!



**問** 12月議会一般質問で、保護者の同意書を取得予定であることや、早急に保護者に対して同意説明等をしますとの教育長から答弁をいただいている。しかし、受検したくない児童生徒の選択の自由が保障されれば、個人が特定されない表記は問題がないとの判断で、同意は不要だと決められ、テストは実施されている。本来であれば、児童生徒が個人で受検の判断はできないことから、保護者に対して、テストを実施する前に必要な説明をされるべきでは。

**答** 受検前に保護者にテストを行う旨の連絡と、受検の判断についてお伺いをしています。受検をしない意思表示された方には受検をしていただくことはありません。

**問** 保護者へはテスト実施趣旨の紙1枚が配布されているが、保護者が理解できる内容ではないと考える。詳細な説明を保護者にするのは当然ではないのか。

**答** 保護者には、11月にかさい教育ネットでテストを行うことを連絡させていただきました。十分でなかったことは反省し、次年度以降の実施については考えていきます。

**問** 令和7年度は説明されていないが、令和8年度以降、説明の機会を予定されると理解し

てよいか。

**答** 不十分であったことについて、今後きちんと伝えられるようにしたいが、子供たちに将来にわたって生き抜く力をつけたいという思いでやっています。

**問** テスト・トレーニングを否定しているのではない。取組先行市のように今後どういった目標に向かって取り組まれるのか。

**答** 各学校で出てきた課題を話し合い、今後も積み重ねていきます。また、7月の教育講演会では、リーディングスキルトレーニングを提唱された新井紀子先生に来ていただき取り組み内容を知っていただく機会にしたいと考えています。



## 本市から救急車が一台減る事の市長判断理由は



橋本 真由美 議員  
(清流会・かさいを育む会)

**問** 加西市に配置されている救急車が令和8年4月以降1台減ると判断されたが、今回の救急体制の見直しは、北はりま消防組合議会で審議されていない。市議会にも事前説明や協議がない。管理者会で方向性が決定されたと理解しているが、この決定はいつ、どの会議体でどのような議論を経て、市として了承されたのか。

**答** 個々の市の立場を離れて全体を見つめて、しっかりと全体の視点に立って、改善改革を

図っていくというものでございますので、その趣旨に沿って安全性の確保といった面から承認した次第でございます、それが一つの大きな理由です。

**問** 搬送件数について、1日1.3回同時出動が起きているという事実もあるが、1台なくなると輻輳に対応できなくなる可能性がある。また、他市応援件数が増加する可能性は検証されたのか。

**答** していません。

**問** 救急車削減の影響で到着が遅れ、命に関わる事態が起きた場合、市長は自らの判断として責任を負う考えはあるか。それとも消防組合の判断として責任は別にあると考えているのか。

**答** 一部事務組合を形成されていますので、そこになるの

ですが、それをもって責任と言われるのかどうかという問題もあります。

**問** 市長が説明を受けて納得されたということであれば、市民に説明していただきたい。タウンミーティング、文書での周知、もしくは市のホームページで説明されるのか具体策は。

**答** 対策する必要はないと思っております。実際に確保できるという確信のもとでの内部運用としています。

### 追記

管理者会から出てきた議事録での発言と、一般質問の答弁に虚偽があったため、緊急質問もさせていただきます。



## 市長の行政執行を問う ⑥



森田 博美 議員  
(清流会・かさいを育む会)

### 要望

行政手続等において極めて不十分な点があり疑問が重なり増幅する。議会を軽視しないでより丁寧な説明を求めて質問したい。

**問** 議員定数削減と報酬の増額に対する考え方は。

**答** (副市長) 本来、定数削減は議会で決めるべき事案であるが、市長の政治家としての判断で、市議会議員選挙の候補者の状況からのなり手不足や近隣市の定数を勘案し、行政改革の一環とし

て全体数を下げることで市長が最終判断しました。

**問** 行政経験豊富な市長と副市長からして、議員定数削減の議案提案は熟慮した結果なのか。

**答** (市長) 定数は議会自らが判断して決めるべきことだと考えます。ただ、近隣市では立候補者数も多く、人口も加西市よりも多い市が14名に変更されているのに、現状を維持するという議会の判断が疑問であり、市長が提案するしかない判断しました。

**問** 前回修正された総合運動防災公園関連予算はどのように再検討されたのか。

**答** 財政負担、事業規模の妥当性、市民理解の不足等を課題として認識しています。有利な

起債、補助制度の活用、民間活力導入の可能性、財政の見通しの再検討を進め、再提案しています。(副市長) 市長の公約でもあり、将来の加西市のためにも事業化していきたくと考えています。

**問** 市長の公約ならばもっと丁寧な説明が必要ではないのか。広報に2回特集したことで事業が進んでいると市民に誤解を生んでいるが。

**答** (市長) 30年以上前から明示して多くの方々に期待を持たせています。議員側も事業化を提言されるべきではなかったのかと疑問に思います。早期実現を求める声を多く聞いています。声がないところで強行する気はありません。今、財政的にも見通しがつく状況ですので、加西市を発展させるために投資を行い早期に進めていきたくと思っています。



## 教育の充実について



北川 克則 議員  
(令和新風加西)

**問** 教育3本の矢の加西BASEで、リーディングスキルトレーニングの現状と感想は。

**答** (教育長) 全ての学校でトレーニングがスタートしています。メインは週2~3回10分程度の複写トレーニングです。教員の感想では、子供の集中力が高まってきたとか、授業が落ち着いてきたとか、小学校の子供では手遊びが減ったとか、素早く教科書を開けるといったように、授業の準備が丁寧に行えるようになって

ています。

**問** 教育3本の矢の加西STEAMで、体験を活かした非認知能力育成の取組は。

**答** (教育長) 西本智実さんによる体験型の音楽指導は、令和7年度で3回目を迎えます。1日だけの指導ですが、子供たちは大きく変わっていきます。各学校では、地域の特性を生かした農業体験、福祉体験、公民館の事業所と連携した体験活動などを行い、それらを通して、教科の授業では身につけられない思いやりや協調性、物事をやり抜く力、自己肯定感など、色々な形の非認知能力の育成につながっていると考えます。

**問** 自由主義と利己主義の境目が混沌としている現在、人としての正しい生活の筋道であり、心の在り方を学ぶ道徳教育は、とても大切だと思います。そこで、道徳教育の現状をお聞かせください。

**答** (教育長) 道徳教育については、学習指導要領で道徳の授業があります。それを中心に学校生活全体で行っています。主に特別活動や行事などのいろいろな場面で、各校が計画的に実施しています。

### 提案

定期的に姿勢を整える、元気に明るく声や動作を揃える(形から入る道徳)実践を勧めたい。



## 進むDXと方向性の提案



下江 一将 議員  
(清流会・かさいを育む会)

**問** AIの進化によってDX化が加速する中、本市としても急激な変化に対応していく必要がある。「かさい『ミライナカ』くらしラボ」の設立経緯と具体的な取組を伺う。

**答** 市長を会長とし、30の会員企業・団体の参画により令和8年2月に設立されました。助け合うまち、移動にストレスのないまち、地域通貨で活気づくまちの三つを重点テーマに、官・民・市民が連携し、課題解決に取り組めます。

**問** 本市におけるDXの真の目的は、単なる行政事務のコスト削減や効率化なのか。それとも、市民の満足度創出や幸福度向上などを最上位の価値として位置づけているのか、根本的な考えは。

**答** さまざまな分野で市民生活をより便利で豊かにすることを目的としています。産業・農業・観光の分野に新しい展開をもたらし、環境にも配慮した、人が中心の持続可能な共生のまちの実現を目指しています。

**問** 活動の回数などの数字を追うだけでなく、その結果として市民の行動や幸福度がどう変化したのかという成果(アウトカム)を検証することこそが、孤独を防ぎ、豊かな社会を築くために不可欠だと考える。現在、設定しているDX化の成果指標は何か。

**答** 当面は利用者数等を目標としていますが、将来的には顕在化していない課題への対応も必要であり、誰ひとり取り残さないデジタル化を進めたいと考えています。

**問** 孤立を防ぐ具体的な物差しとして、ねっぴ~Payでのポイント利用者間の交換による「地域で支え合う可視化」や、かさいライフナビを活用して家族以外に相談できる人がいるかなどを調査する「信頼接点指標」を導入し、その数値を目標に掲げることを提案する。

**答** 非常に重要な視点です。令和8年度予定のかさいライフナビとねっぴ~Payのアプリ間連携等の事業を成熟させていくとともに、提言いただいた内容についても検討を進めます。



大前 裕也 議員

(改革未来・自民の風・加西市民の会)



## 耕作放棄地の現状と獣害との関係を問う

**問** 耕作放棄地の分布、地域別、町別を市として把握していますか。

**答** 農業委員会で管理している遊休農地を耕作放棄地として認識し、対応を行っています。令和2年度以前は算定方法が異なり比較できないため、令和3年度以降の推移として報告します。令和3年度は425アールで42筆、令和4年度は447アールで95筆、

令和5年度は511アールで107筆、令和6年度は588アール103筆となっています。

**問** 加西市が策定した有害鳥獣対策に関する計画の中には、農作物への被害が深刻化していると明記され、主要な被害獣としては、イノシシ、鹿が位置づけられている。耕作放棄地はイノシシ、鹿の隠れ場所や侵入ルートになっているが、市として被害発生に影響しているとの認識を持っているか。私が住んでいる付近では、畑にイノシシがたくさん出ており、聞いた話では、何頭か捕獲したということも聞いている。この耕作放棄地の問題について、市として認識を持っているか。

**答** 市では加西市鳥獣被害防止計画を策定しており、鹿、イノシシ、アライグマ、ヌートリア等の有害鳥獣の対策を推進しています。被害相談を受けた場合は現地確認を行います。鹿、イノシシは基本的に山や森からの出没と考えています。耕作放棄地が点在しているため、鹿、イノシシが安心して潜めるほどの面的放棄地は多くはないと認識しています。しかしながら、アライグマ等の小動物については、そのような耕作放棄地の中に潜んでいる可能性は十分にあると考えています。



丸岡 弘満 議員

(改革未来・自民の風・加西市民の会)



## 栄養バランスがとれた安心安全でおいしい学校給食

**問** 以前、給食に関するアンケート調査が行われていないことを指摘したが、その後、調査を行った結果、どのように改善につながっているのか。教育委員会の分析が十分とは言えず、結果が現場に反映されにくいと感じている。中学生では残食量が多く、食べる時間が短いという課題が続いている。配膳準備に時間がかかり、実際の食事時間が圧迫されている現状も改善が必要ではないか。

**答** アンケートが目的ではなく、取った後が大事だという議

員の指摘に同感です。アンケートは意見を把握する重要な手段であり、分析の精度向上は課題と認識しています。今後は回答内容を細かく分類し、改善点を明確にしたうえで学校現場と共有し、給食運営に反映していきます。中学生の残食や食事時間の確保については、学校と連携し、指導方法や配膳体制の見直しを進め、効率的な準備ができるよう改善を図ります。

**問** 給食の質を理解してもらうには、実際に味わっていただく機会が不可欠。保護者や地域の関係者が参加できる「給食試食会」を開催してはどうか。特に南部給食センター2階には会議室があり、小荷物専用昇降機240万円を追加工事で設置したのは食育セミナーのためということであった。

**答** ご提案の試食会については、南部給食センターの会議室を活用することで実施は可能です。安全管理や運営方法を整理したうえで、希望者を募り、保護者や関係者の皆さまに給食を味わっていただける機会を設けたいと考えています。給食のインスタグラムで調理作業の様子も動画や画像で伝えていますが限界があります。試食会はアンケートでは得られない生の声を伺う貴重な場となり、実施に向けて準備を進め、給食の質向上と食環境の改善につなげていきます。

【実際に提供されたメニュー】

唐揚げは1個でも大きさが魅力





高橋 佐代子 議員

(改革未来・自民の風・加西市民の会)

## 学校統合跡地計画について（日吉小学校跡）



**問** 現在、日本経済は物価上昇や金利の不透明感が続き、都市部では賃貸需要が維持される一方、地方では持家需要の低下が課題となっているが、加西市の住宅需要をどのように分析しているのか。また、市内に不動産業者があるにもかかわらず、市外事業者へのヒアリングが行われた点に納得いかない。

**答** 全国的に新築戸建ての建築件数は減少し、加西市でも令和4年度105戸から令和6年度60戸へと大きく落ち込んでい

ます。資材価格の高騰や金利上昇に加え、市街地の分譲地不足が影響しています。市内では広い土地に平屋を建てる傾向が強く、令和7年度は新築の約半数が平屋となっています。都市部の狭小地住宅とは対照的で、広い土地を安価に提供できることが本市の強みであり、移住・定住促進のアドバンテージになると認識しています。なお、ヒアリングは市内外の事業者を対象に実施しており、説明が不明瞭であった点はお詫びします。

**問** 今後の住宅開発について、都市部と地方ではどのような需要見込みと供給の在り方が求められるのか。

**答** 地方では住宅需要の減少が続くと見られますが、加東市東条地区のように、産業団地と

宅地開発を一体的に進めることで人口減少を抑えている例もあります。職場に近く、広く安価な土地が確保できれば、地方でも定住の可能性は十分あると考えています。

**問** 12月議会で答弁のあった九州の住宅メーカーとの協議状況はどうか。その業者はどのような縁で来られたのか。

**答** (副市長) 住宅のPFI事業に積極的に取り組まれている実績から、市が声をかけ、PFI事業による住宅供給の可能性を探るため協議を進めています。現在は関心表明の段階で、令和8年度に具体的な内容を詰めていく予定です。事業化の可否を検討し、方向性が固まり次第、議会にも説明していきます。

## 令和7年度 政務活動費収支報告

議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額10万円を会派に対し政務活動費として交付しています。なお、残額は年度末に返還します。政務活動費収支報告書・調査研究実施報告書・領収書等の資料は、市役所1階総合案内横の専用カウンターおよびホームページにおいて常時公開しています。

会派	交付額	支出済額		残額	執行率	支出項目					
		政務活動費	自費等			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費
清流会・かさいを育む会 (5人)	500,000	457,890	38,360	42,110	91.58%	0	496,250	0	0	0	0
改革未来・自民の風・加西市民の会(5人)	500,000	159,080	11,240	340,920	31.82%	0	170,320	0	0	0	0
令和新風加西 (3人)	300,000	260,179	13,500	39,821	86.73%	0	273,679	0	0	0	0
公明党 (1人)	100,000	0	0	100,000	0%	0	0	0	0	0	0
加西市民クラブ (1人)	100,000	86,725	4,500	13,275	86.73%	0	91,225	0	0	0	0
合計	1,500,000	963,874	67,600	536,126	64.26%	0	1,031,474	0	0	0	0

※ 残額は、交付額から支出済額のうち政務活動費での支出額を差し引いた額です。また、発生した預金利息を加算した額ではないため、収支報告書に記載の残額と一致しない場合があります。なお、発生した預金利息は、残額がある場合には合わせて返還します。

# 市議会トピックス

## ● 閉会中の委員会開催日程

月日	時間	会議
5月14日(木)	10:00	新病院建設特別委員会

## ● 令和8年6月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会議
6月1日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
6月3日(水)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
6月9日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6月10日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
6月11日(木)	10:00	本会議(予備日)
6月12日(金)	10:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
6月15日(月)	10:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
6月18日(木)	10:00	予算決算常任委員会(全体会)
6月22日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

### 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

6月定例会での取扱いを希望される場合は、令和8年5月22日(金)17時までにご提出ください。

### 議案に対する意見募集

定例会における議案に対して、会期中に市民の皆様からご意見を募集します。

皆様からいただいた意見を全議員に配付して、議案審査の参考とさせていただき、議論の活性化につなげてまいります。

詳細はQRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



### 表紙写真募集中!

お気に入りの一枚で表紙を飾ってみませんか

#### 募集内容

市内で撮影した行事・風景・まちなみ・自然などの写真

#### 応募資格

加西市に縁のある方(個人に限ります)

#### 応募締切

令和8年7月3日(金)

- ◆ 写真の縦・横は問いません。
- ◆ 掲載は8月1日発行の188号です。
- ◆ デジタルデータでの提供をお願いします。
- ◆ 選考の上、表紙写真を決定します。

【問合せ：議会事務局】

応募方法など詳細はこちら



### 加西市議会 ホームページ

議会の日程や議案の審議結果、本会議、委員会の会議録などを掲載



### 議会中継・ 録画配信

本会議、委員会のライブ中継と録画中継を配信



### 加西市議会 公式X

アカウント名：加西市議会  
URL：  
[https://x.com/kasai\\_gikai](https://x.com/kasai_gikai)

発行編集 加西市議会  
議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] [gikai@city.kasai.lg.jp](mailto:gikai@city.kasai.lg.jp)

議会だより編集委員会

委員長 深田照明  
委員 佐伯欣子  
委員 西脇親

副委員長 北川克則  
委員 田井真一  
委員 橋本真由美